

小さな掛金・大きな補償 スポーツ安全保険

平成 26 年度のスポーツ安全保険の加入受付が 3 月 3 日から始まります。

この保険は、アマチュアのスポーツ・文化・ボランティア活動を行う 5 人以上の団体を対象として、経路往復中も含めた団体活動中の傷害事故および賠償責任を負う事故を補償するものです。

万一来備えて、加入しましょう。

〈加入区分・掛金〉

加入対象者	補償対象となる団体活動等	加入区分	年間掛金 (1人あたり)
子ども (中学生以下)	スポーツ活動・文化・ボランティア・地域活動	A1	800円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人	文化・ボランティア、地域活動	A2	800円
		C	1,850円
	スポーツ活動 / スポーツ活動の指導	AC	1,300円
65歳以上	子どもへのスポーツ活動の指導 (C区分でも加入可)	B	1,000円
全年齢	スポーツ活動	D	11,000円
	危険度の高いスポーツ活動		

※上記以外にインターネット加入に限り、開催期間 3 カ月以内の短期スポーツ教室専用の加入区分あり

〈対象となる事故〉

団体活動中および経路往復中の事故

〈受付期間〉

平成 26 年 3 月 3 日から平成 27 年 3 月 30 日まで

〈保険期間〉

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで
(4 月 1 日以降の申込は、加入手続日の翌日から有効)

〈問い合わせ先〉

(公財) スポーツ安全協会石川県支部 (県体育協会内)
☎ 076-268-3100
または
町教育委員会事務局
☎ 72-2509



賞状を受け取る谷口諒真さん(左・スポーツ奨励賞)と新崎真理子さん(下・スポーツ振興賞)

平成 25 年度能登町スポーツ表彰式は 2 月 14 日、役場能都庁舎で開かれ、各部門の代表者が持木町長から賞状を受け取りました。受賞した個人、団体の皆さんは次のとおりです。(敬称略)

能登町スポーツ賞

坂下昭徳(町相撲連盟)▽国体相撲団体準優勝

能登町スポーツ奨励賞

谷口諒真(能都中)▽北國新聞社杯争奪少年バドミントン選抜大会中学2年男子シングルス優勝
山本幸太(能都中)▽同中学1年男子シングルス優勝
山崎直哉(松波中)▽北信越中学校総合競技大会相撲個人軽量級優勝
鍵主淳樹(小木中)▽県中学校相撲選手権大会個人75kg以下優勝

橋本 茜(鶴川中) 山瀬茉依(同)▽県中学校選抜ソフトテニス大会女子個人ダブルス優勝
久山隆希(鶴川中) 奥野立樹(同)▽県中学校ソフトテニス選手権大会男子個人ダブルス優勝

川上春菜(鶴川中)▽県障害者スポーツ大会陸上競技障害区分28知的障害100kg個人優勝
大町 諒(鶴川小)▽北信越小学校ソフトテニスインストア大会6年生個人ダブルス3位

牧 和音(鶴川小) 中田優衣(同)▽東日本小学生選抜ソフトテニス大会団体優勝
浅山直樹(町相撲連盟)▽県相撲選手権大会個人75kg未満優勝

寺下祐樹(町相撲連盟)▽同100kg未満優勝
濱 大巧未(町相撲連盟)▽西日本学生相撲選手権大会団体優勝
小杉崇峰(飯田高)▽県高校陸上競技対校選手権大会男子円盤投優勝

橋本 遥(飯田高) 井田真季(同)▽県高校総体ソフトテニス個人ダブルス優勝
大屋健一(能登高) 寺尾和真(同)▽県高校選抜ソフトテニス大会個人ダブルス優勝
小杉紗代(能登高)▽同3位
因 京将(能登高) 米澤 要(同)▽北信越高校ソフトテニス選抜インストア大会個人ダブルス優勝

山下藍里(能登高)▽国体ソフトテニス競技少年女子出場
茶院勇次(能登高)▽北信越国民体育大会アーチェリー競技男子個人3位
松屋晴希(能登高)▽北信越春季アーチェリー大会男子個人3位

スポーツ振興賞個人

新崎真理子(町テニス協会)
関本弘子(同)▽旧能都町テニス協会の一員としてテニスの普及活動に努める。現在も選手として練習に励み、3年前の県体壮年女子の部で中心選手として参加、3位に輝くなど活躍している。

※受賞者は、各学校、体育協会、スポーツ少年団などの推薦を受け、能登町社会教育委員会会の審議を経て決定されました。

角田佑紀(能登高)▽北信越アーチェリー選手権大会女子個人3位
田岡秋実(能登高)
高山千里(同)▽国体アーチェリー競技少年女子出場
駒寄真弓(町アーチェリー協会)
▽国体アーチェリー競技成年女子出場
吉岡翔太(町ソフトテニス協会)
道下直人(中央大) 堂野貴寛(明治大) 寺下洗平(明治大) 濱高彰仁(慶應義塾大)▽国体ソフトテニス競技成年男子出場
川原智恵子(町ソフトテニス協会) 佐々木真子(関西大) 佐々木

美和(関西大) 元 悠香(町ソフトテニス協会) 谷内美咲(同)▽国体ソフトテニス競技成年女子出場
久山亜衣(金沢東高)▽国体ソフトテニス競技少年女子出場
二田早智子(金沢大)▽北信越学生ソフトテニス選手権女子個人優勝
奥 亜紗日(金沢大)▽同2位
橋本麻衣(富山大)▽同3位

華、佐々木萌恵、牧 絢音▽北信越中学校総合競技大会ソフトテニス競技団体3位
能登高校男子ソフトテニス部
(大屋健一、寺尾和真、屋鋪雄太、仙福和弥、下島雅大、西田和志、宮野悠希、新木慎太郎、因 京将、米澤 要、山本貴大、高宮 真)▽北信越高校ソフトテニス選抜インストア大会団体3位、北信越高校体育大会県団体選手権大会団体2位、県高校選抜ソフトテニス大会団体優勝
能登高校男子アーチェリー部
(松屋晴希、茶院勇次、濱島和成、渡辺悠暉)▽北信越国民体育大会アーチェリー競技団体優勝

能登町ソフトテニス協会
(道下直人、堂野貴寛、寺下洗平、濱高彰仁、川端光明、寺下将司、鶴野晋太郎、清水基善)▽県体ソフトテニス競技一般男子団体優勝

スポーツ奨励賞団体
鶴川中学校女子ソフトテニス部
(橋本 茜、山瀬茉依、山本英里、下島奈巳、辻口萌、堂上愛)

消費税率引上げのお知らせ

消費税率および地方消費税率について、次のとおり2段階で引き上げることとされました。

適用開始日	現行	平成26年4月1日	平成27年10月1日
消費税率	4.0%	6.3%	7.8%
地方消費税率	1.0% (消費税額の25/100)	1.7% (消費税額の17/63)	2.2% (消費税額の22/78)
合計	5.0%	8.0%	10.0%

※ 経済財政状況の激変にも柔軟に対応する観点から、消費税率引上げの前に、経済状況等を総合的に勘案したうえで、消費税率の引上げの停止を含め所要の措置を講ずることとされています。

※ 引上げ後の税率は、経過措置が適用されるものを除き、適用開始日以後に行われる資産の譲渡等について適用されます。

消費税法改正の内容は、国税庁ホームページ「消費税法改正のお知らせ（社会保障と税の一体改革関係）」をご覧ください。

掲載場所：国税庁ホームページ⇒（トピックス欄）「消費税法改正のお知らせ（社会保障と税の一体改革関係）」
URL：http://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjoho/pamph/shohi/kaisei/201304.htm

消費税増税に伴い町の料金・使用料も変わります

■上下水道関係		現行	改定後
公共下水道・農業集落排水・漁業集落排水（一般汚水）	排除汚水量10m ³ まで（基本料金）	1,580円	→ 1,620円
	10m ³ を超える分1m ³ につき	158円	→ 162円
浄化槽使用料	10人槽以下	1,575円	→ 1,620円
	11人～20人	1,785円	→ 1,836円
	21人～35人	2,625円	→ 2,700円
	36人～50人	3,045円	→ 3,132円

■有線テレビ関係		現行	改定後
有線テレビ基本使用料（月額）	全エリア	1,000円	→ 1,080円
インターネット使用料（月額）	1Mbps	1,785円	→ 1,836円
	10Mbps	2,625円	→ 2,700円
	30Mbps	3,990円	→ 4,104円

■営業施設関係		（表中は改定後入浴料金）			
施設名	ラプロ恋路	うしつ荘	やなぎだ荘（温泉）	真脇ポーレポーレ（温泉）	
大人（中学生以上）	420円	420円	460円	460円	
小人（小学生）	250円	250円	250円	250円	
幼児（3歳以上）	150円	150円	150円	150円	

※温泉とその他の浴場の料金を統一しました。

〈宿泊料金〉		改定後料金
施設名	国民宿舎能登うしつ荘	大人1泊2食付 7,340円～
	国民宿舎能登やなぎだ荘	大人1泊2食付 7,340円～
	真脇ポーレポーレ	大人1泊2食付 12,420円～
	ラプロ恋路	大人1泊2食付 8,640円～
	セミナーハウス山びこ	大人1泊2食付 7,170円～
	アストロコテージ	大人4人まで 17,280円（平日）

※使用料、食料なども改定されます。詳細は各施設にお問い合わせください。

このほかの公共施設使用料・手数料等も改定されます。ご理解とご了承いただきますようお願いいたします。

3月16日は石川県知事選挙の投票日です。



◆投票時間 午前7時～午後8時
ただし、第4・5・9・11・13・14・15・17・18・19・21・24投票区は午後7時まで

◆有権者

平成6年3月17日までに生まれた人で、平成25年11月26日までに能登町に住民登録を行い、引き続き3カ月以上能登町に住所を有している人

◆入場整理券について

入場整理券は住民登録がある住所へ送付されます。住民登録と現住所が異なっている人は、入場券が届かない場合があります。なお、入場券がなくても、選挙人名簿に登録され、当日選挙権があれば投票できます。

◆不在者投票について

選挙人名簿に登録されている人で、現在旅行などで能登町以外に在住して

期日前投票所と投票時間

投票所名	開設期間	投票時間
能都社会福祉会館 1階集会室	2月28日(金)～ 3月15日(土)	午前8時30分～ 午後8時
柳田庁舎 1階事務室		午前8時30分～ 午後7時
内浦福祉センター 1階集会場		
小木支所 ロビー	3月14日(金)～ 15日(土)	午前8時30分～ 午後7時
鶴川支所 図書館		

いる人は、不在者投票をすることができます。該当する人は、事前に宣誓書（請求書）を取り寄せ、必要事項を記入して選挙管理委員会へ郵送してください。請求のあった現住所へ投票用紙や不在者投票用封筒などを送付します。

◆期日前投票を利用しましょう

投票日に仕事やレジャー、冠婚葬祭などで投票所に行けない人は、期日前投票ができますので、ご利用ください。期日前投票ができる投票所の場所と時間は左表のとおりです。

当日の投票所と投票時間

番号	投票所
第1	能都社会福祉会館 1階集会室
第2	町立宇出津小学校 1階ロビー
第3	町立ひばり保育所 遊戯室
第4※	町立三波公民館 集会室
第5※	矢波地区集会所
第6	町立神野公民館 ホール
第7	町立鶴川公民館 図書室
第8	町立瑞穂公民館 和室
第9※	宮地生活改善センター 集会室
第10	野田コミュニティセンター
第11※	町立小間生公民館 会議室
第12	上町地区生活改善センター 和室
第13※	町立岩井戸公民館 会議室
第14※	当目地区多目的研修集会センター
第15※	斉和多目的集会所
第16	内浦福祉センター 1階集会場
第17※	上区集会場
第18※	町立不動寺公民館 集会室
第19※	町立秋吉公民館 集会室
第20	白丸コミュニティ施設多目的交流ホール
第21※	能登勤労者プラザ 体育館
第22	小木地区活性化センター ロビー
第23	町立高倉保育所 遊戯室
第24※	小浦地区集会所

※印の投票所の投票時間は午後7時までです。

◆スムーズな期日前投票にご協力を
入場券の裏面が期日前投票の「宣誓書」
になっています。期日前投票を行う場合は
あらかじめ氏名などを記入してお持ちいた
だくと、スムーズに投票できます。

はがきの裏面

氏名・生年月日を記入

該当に○印

災害にも強いふくしのまちづくり

防災・減災セミナー

2月2日、役場能都庁舎で町社会福祉協議会主催の「防災・減災セミナー」が開催され、約160人が参加した。超高齢化社会を迎えるにあたって、災害時に最も大きな影響を受ける高齢者や障害者、子どもなどをいかに守るか。参加者は災害に強い福祉のまちづくりについて考えた。



【写真】(上)会場には約160人が集まった。(左下)基調講演をする田中准教授。(右下)小木中学校生徒は、保育園児のために披露している防災劇を実演した。

第1部

では「住み続けられる地域と防災・減災」と題し、北陸学院大学の田中純一准教授が基調講演を行った。田中准教授は被災者の生活再建・復興コミュニティ作りに携わっている。東日本大震災発生時は、震災3日目に被災地に入った。以降、ほぼ月に一度という頻度で学生とともに岩手県陸前高田市を中心に訪れている。講演の要旨は次のとおり。

震災発生からやがて3年が経過しようとしているのに、手つかずの場所があり「復興」ということばを使うことをためらう。年月の経過とともに被災地への関心が低下している。今こそ一人一人の事情に応じた「個別性」に着眼することが重要だ。

高台への集団移転による「買物難民」発生や8階建ての復興住宅建設による高齢者の孤立化など、復興が進むにつれてまちづくりにへの課題が顕在化してきた。被



災地ではマンパワーが不足している。地方公共団体の職員も被災者。職員の4分の1が死亡または行方不明である。加えて復興事業の増大、短い期間での合意形成が求められる。住民側のまちづくりの経験が蓄積できていないことも、課題解決に至らない要因と思われる。身の回りのことで精いっぱいだった発生直後と比べ、時間がたつにつれて余裕ができ、今後は町全体のことについて考えることができるようになるのではないかと。被災地復興は民主主義の挑戦でもある。

地域社会が希薄化する中、共助は可能か。少子高齢化の進む能登町では、家族前提の自助は難しく、共助が重要。地域間の交流などによって孤立しない関係性づくり、「厚みのある防災力」が重要。

小木中の防災の取り組みは、共助の在り方を探るもの。小木中に学んでいく必要がある。

第2部

小木中学校の1・2年生計23人が防災劇を披露。避難の要請に応じないお年寄りの説得への劇を実演した。続いて、小木中職員や生徒による公開トークが行われた。



小木中の防災教育は、3・11の震災発生後から始まった。先例にとらわれず「できることをやろう」と取り組んでいる。大人や学生が仕事などで地域を離れている昼間は、中学生が有事の際、対処する主体になる。地域の防災の担い手となることで中学生の自信にもつながる。

世代間・学校間・地域間をつなぐ活動については「中学生がやるならやろうか」と大人が行動を起こすことにつながる。

「お互いに助け合おう」と一昨年から始まった柳田中との交流事業では、とも旗祭りや和紙づくりを通じて地域の伝統に触れている。伝統に触れることで、自分たちの地域の良さを再確認することもできる。

地域や先生の期待を中学生はどう感じているのか。生徒会の代表として壇上に上がった石崎佳祐さ

んは、入学時から防災の取り組みに参加してきた。「防災訓練を行うごとに地域がまとまった。つながりも強くなり中断していた行事も復活した」と話した。また後輩にも「防災をわかりやすく伝え続けてほしい」と期待を寄せた。

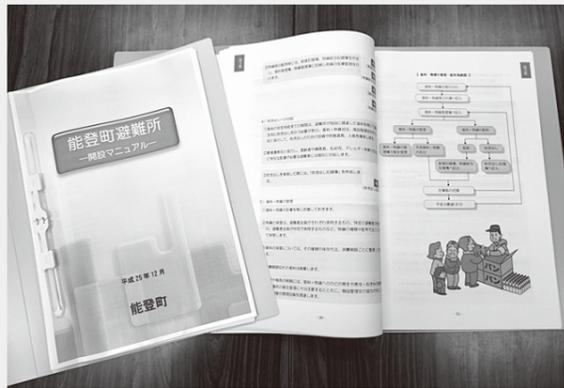
司会をつとめた田中准教授は小木中の活動について「地域にとどめず、県内外に広めて」と防災文化発信の意義の大きさを強調した。最後に「小木中学校からこれからも刺激を受けたい」と話し、公開トークを締めくくった。

避難所開設マニュアルと運営マニュアルを作成

大規模災害の発生時には、避難所の長期間にわたる共同生活が必要な事態が予想されます。

この場合、避難所を開設する町と避難住民が力を合わせ、避難生活での混乱をできるだけ予防するとともに、困難を少しでも減少できるようにすることが必要です。このマニュアルは、予想される課題解決に向けた基本的な事項を示して、円滑な避難所の運営が行われることを目的としています。皆さまも一度ご覧になっていただき、いざというときの備えとなるようにご活用ください。

※マニュアルは開設マニュアルと運営マニュアルに分かれています。町のホームページに掲載してあります。



総務課危機管理室 ☎ 62-8510

非常時の対処について再確認 女性防火の集い

第9回能登町女性防火の集いは2月16日、町消防防災総合センター（能登消防署）で開かれ、女性防火クラブ員約40人が参加しました。東日本大震災発生直後に援助隊として被災地に赴いた消防職員が活動を報告。続いて救急隊員が応急処置法について解説しました。

三角巾を使って頭部や腕、ひざなど体の各部位を固定する実習も行われました。講師の消防職員は「非常時に活用していただければ」と話し、防火クラブ員は真剣な表情で実技に臨んでいました。





第28回 真紅の花「のとキリシマツツジ」を楽しもう！！

猿鬼 歩こう走ろう健康大会



〈日時〉5月11日(日) (雨天決行)

午前7時30分～8時30分受付・健康診断

〈会場〉柳田運動公園 (体育館・野球場)

〈申込〉受付開始3月3日(月)から

*参加申込書に参加費を添えて最寄りの金融機関窓口へ持参
(興能信用金庫の場合、手数料は不要)

*現金書留・郵便小為替で事務局へ郵送または持参

*インターネット・携帯サイト (<http://runnet.jp/>) から申込み

〈申込用紙〉

役場各庁舎窓口、町内各公民館、興能信用金庫各店窓口、教育委員会事務局などにあります。

〈種目〉

○走ろうの部

ハーフ、10 km、5 km、3 km

※ハーフは12時までの時間制限がありますのでご了承ください。

○歩こうの部 (当日申込可)

せせらぎコース6 km、やませみコース10 km、
健脚猿鬼コース16 km

〈参加費〉歩こうの部：1,500円 (年齢は問いません)

走ろうの部：一般3,000円、高校生以下1,500円

〈申込期限〉4月3日(木)

〈お問い合わせ〉

猿鬼歩こう走ろう健康大会事務局 (教育委員会事務局内)

☎ 0768-72-2509 FAX : 72-2393

e-mail : kyouikuiinkai@town.noto.lg.jp

講演会 若い力が地域を変える

対馬市における地域おこし協力隊の活動

総務省が推進する「地域おこし協力隊」は、地方自治体が都市住民を受け入れ、地域おこし活動の支援や住民の生活支援などに従事してもらい、あわせてその定住・定着を図る制度です。

講師の木村幹子さんは、限界集落である長崎県対馬市上^{かみあがた}島町^{したる}志多留集落に移り住み、自然共生・資源循環型の集落づくりや市の環境保全計画の作成支援、持続可能な農林水産業の振興などに取り組んでいる方です。対馬の地域おこし協力隊の活動報告、特に域学連携事業を始めとする志多留地区での取り組み事例を紹介しながら、外部人材の活用の可能性について考えます。

〈日時〉3月25日(水) 9:30～11:30

〈会場〉役場能都庁舎3階研修室

〈申込〉定員は40人で、役場ふるさと振興課 (☎ 62-8532) までお申込みください

〈主催〉能登町、能登町地域活性化推進協議会



■木村幹子 (きむらもとこ)
北海道大学大学院環境科学院博士後期課程修了。専門は進化生態学。博士 (環境科学)。
平成23年より総務省地域おこし協力隊 (対馬市島おこし協働隊) として対馬へ移住。

スペインで 能登杜氏の酒をPR

数馬酒造 料理学会に参加

数馬酒造は1月27～29日、スペイン・マドリードで開かれた料理学会「マドリード・フュージョン」の日本ブースに参加し、能登杜氏の作った酒の魅力を世界に伝えました。

欧州を中心とした料理人や流通業界関係者らが集まり、料理の流行を発信するイベントで、日本政府は初めて和食と日本酒の2部門で出展。日本酒部門には、日本から数馬酒造を含む4社が採用されました。現地で数馬嘉一郎社長は、能登の海に近い酒蔵の立地を挙げ、魚介類との相性の良さをアピールしました。試飲ではソムリエから「米のうま味を感じる」「体と酒が友達になれた」と高い評価を受けました。



▲来場者に日本酒の魅力を説明する数馬さん (左)



イタリアで ジェラート世界大会入賞

柴野さんを「ふるさと大使」に任命

能登町出身の「ジェラートマエストロ」柴野大造さんのふるさと大使任命式は2月19日、役場能都庁舎で行われました。日の丸の入ったコックコートを身にまとった柴野さんに、持木町長から委嘱状と名刺が手渡されました。柴野さんは瑞穂出身で、独学でジェラートの製法を学びました。直営店2店のほか、自身プロデュースの店が全国各地にあります。

柴野さんは1月21日にイタリアで開かれた「ジェラート世界大会」のピスタチオを使った部門で10位に入賞。持木町長に受賞を報告しました。「1年間かけてイタリア人の口に合う、はっきりとした味と甘さを追求した」「期限付きの目標と準備が大切と感じた」と大会の挑戦について話しました。